

正誤表 (55)

工事名) 磐越自動車道 宝珠山トンネル工事

対象	訂正前	訂正後																																																																
<p>特記仕様書</p> <p>(16頁)</p> <p>17. 再生資材及び建設副産物の活用</p> <p>17-1 再生骨材の使用</p> <p>(1)</p>	<p>16-4 砂塵等の防止</p> <p>受注者は、工事中の汚濁水は、関係法令に従って濁りの除去等の処理を行った後放流しなければならない。</p> <p>16-5 汚濁水処理</p> <p>受注者は、関係法令に従って濁りの除去等の処理を行った後放流しなければならない。</p> <p>16-6 六価クロム溶出試験</p> <p>受注者は、セメント及びセメント系固着材を地盤改良等に使用する場合は、改良土から土壌環境基準を超えた六価クロムを溶出させることがないようにしなければならない。また、セメント及びセメント系固着材を使用した改良土を再利用する場合は、六価クロムの溶出量が土壌環境基準以下であることを確認しなければならない。</p> <p>16-7 環境保全に関する費用</p> <p>環境保全に関する事項のうち、本特記仕様書16-1に定める観測及び対策工等、本特記仕様書16-6に定める六価クロム溶出試験に要する費用以外は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p> <p>17. 再生資材及び建設副産物の活用</p> <p>17-1 再生資材の使用</p> <p>(1) 再生資材は、下記に示す単価表の項目の単価を構成する材料に使用するものとする。</p> <table border="1" data-bbox="691 1115 1489 1570"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>再生資材の種類</th> <th>数量</th> <th>摘要指針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎材 B</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約66 m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>裏込め砕石</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約664 m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎工 コンクリート基礎工A (F)</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約12 m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎工 コンクリート基礎工B (F)</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約42 m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎工 コンクリート基礎工D (F)</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約3 m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール Type A</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約1 m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>油水分離ます工</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約29 m3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	再生資材の種類	数量	摘要指針等	基礎材 B	再生クラッシュラン	約66 m3		裏込め砕石	再生クラッシュラン	約664 m3		基礎工 コンクリート基礎工A (F)	再生クラッシュラン	約12 m3		基礎工 コンクリート基礎工B (F)	再生クラッシュラン	約42 m3		基礎工 コンクリート基礎工D (F)	再生クラッシュラン	約3 m3		マンホール Type A	再生クラッシュラン	約1 m3		油水分離ます工	再生クラッシュラン	約29 m3		<p>16-4 砂塵等の防止</p> <p>受注者は、工事中の汚濁水は、関係法令に従って濁りの除去等の処理を行った後放流しなければならない。</p> <p>16-5 汚濁水処理</p> <p>受注者は、関係法令に従って濁りの除去等の処理を行った後放流しなければならない。</p> <p>16-6 六価クロム溶出試験</p> <p>受注者は、セメント及びセメント系固着材を地盤改良等に使用する場合は、改良土から土壌環境基準を超えた六価クロムを溶出させることがないようにしなければならない。また、セメント及びセメント系固着材を使用した改良土を再利用する場合は、六価クロムの溶出量が土壌環境基準以下であることを確認しなければならない。</p> <p>16-7 環境保全に関する費用</p> <p>環境保全に関する事項のうち、本特記仕様書16-1に定める観測及び対策工等、本特記仕様書16-6に定める六価クロム溶出試験に要する費用以外は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p> <p>17. 再生資材及び建設副産物の活用</p> <p>17-1 再生資材の使用</p> <p>(1) 再生資材は、下記に示す単価表の項目の単価を構成する材料に使用するものとする。</p> <table border="1" data-bbox="1813 1115 2611 1570"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>再生資材の種類</th> <th>数量</th> <th>摘要指針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎材 B</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約101 m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>裏込め砕石</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約665 m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎工 コンクリート基礎工A (F)</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約12 m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎工 コンクリート基礎工B (F)</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約42 m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎工 コンクリート基礎工D (F)</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約3 m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マンホール Type A</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約1 m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>油水分離ます工</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>約29 m3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	再生資材の種類	数量	摘要指針等	基礎材 B	再生クラッシュラン	約101 m3		裏込め砕石	再生クラッシュラン	約665 m3		基礎工 コンクリート基礎工A (F)	再生クラッシュラン	約12 m3		基礎工 コンクリート基礎工B (F)	再生クラッシュラン	約42 m3		基礎工 コンクリート基礎工D (F)	再生クラッシュラン	約3 m3		マンホール Type A	再生クラッシュラン	約1 m3		油水分離ます工	再生クラッシュラン	約29 m3	
単価表の項目	再生資材の種類	数量	摘要指針等																																																															
基礎材 B	再生クラッシュラン	約66 m3																																																																
裏込め砕石	再生クラッシュラン	約664 m3																																																																
基礎工 コンクリート基礎工A (F)	再生クラッシュラン	約12 m3																																																																
基礎工 コンクリート基礎工B (F)	再生クラッシュラン	約42 m3																																																																
基礎工 コンクリート基礎工D (F)	再生クラッシュラン	約3 m3																																																																
マンホール Type A	再生クラッシュラン	約1 m3																																																																
油水分離ます工	再生クラッシュラン	約29 m3																																																																
単価表の項目	再生資材の種類	数量	摘要指針等																																																															
基礎材 B	再生クラッシュラン	約101 m3																																																																
裏込め砕石	再生クラッシュラン	約665 m3																																																																
基礎工 コンクリート基礎工A (F)	再生クラッシュラン	約12 m3																																																																
基礎工 コンクリート基礎工B (F)	再生クラッシュラン	約42 m3																																																																
基礎工 コンクリート基礎工D (F)	再生クラッシュラン	約3 m3																																																																
マンホール Type A	再生クラッシュラン	約1 m3																																																																
油水分離ます工	再生クラッシュラン	約29 m3																																																																
	16	16																																																																